

八戸工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	国語ⅡA(0202)	
科目基礎情報							
科目番号	2Z01			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 1		
開設学科	産業システム工学科環境都市・建築デザインコース			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	1		
教科書/教材	①『古典を読んでみましょう』（ちくまプリマー文庫）②『日本古典読本』（筑摩書房）③『新精選古典B漢文編』（明治書院）④『新訂 国語図説 五訂版』（京都書房）⑤『常用漢字の標準演習 改訂版』（東京書籍）						
担当教員	齋 麻子,海野 かおり,米田 巧						
到達目標							
日本の古典文学について、古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞を自主的にできる。漢文の初歩的な読解ができる。現代文の理解ができる。漢字テスト等を通して、語彙力を高める。言葉の大切さを理解する。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞を自主的にできる。			古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞ができる。		古文の基礎知識と文学史的背景をふまえた作品鑑賞ができない。	
評価項目2	漢文の初歩的な読解が主体的にできる。			漢文の初歩的な読解ができる。		漢文の初歩的な読解ができない。	
評価項目3	現代文の理解が主体的にできる。			現代文の理解ができる。		現代文の理解ができない。	
学科の到達目標項目との関係							
ディプロマポリシー DP1 ◎ ディプロマポリシー DP6 ○ 地域志向 ○							
教育方法等							
概要	【開講学期】夏学期週2時間 基礎的な教養が得られるような作品を日本文学のさまざまなジャンルから選び、自国の言葉や文化を学習する。また、漢文に関する基礎的な知識と理解を身につける。併せて現代文の読解力を養う。						
授業の進め方・方法	教科書を中心に古典文学を鑑賞する。古文の読解を行うと共に、歴史的背景を把握し、作品への理解を深める。漢文についても、読み方や解釈の仕方を習得する。						
注意点	定期的に漢字テストを行う。宿題課題等の提出は確実に提出すること。教科書・副教材の他に古語辞典と漢和辞典を持参すること（電子辞書も可）。配布プリントは紛失しないように専用のファイルを準備すること。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス・自学自習について／漢字の作られ方		提示された課題を把握できる。		
		2週	漢字の作られ方		漢字の成り立ち、日本語の成り立ちを理解できる。		
		3週	上代の文学／漢字テスト		上代の文学作品を理解できる。 語彙力が向上できる。		
		4週	上代の文学		上代の文学作品を理解できる。		
		5週	上代の文学／中古の文学		上代の文学作品の世界観が理解できる。 中古の文学作品を理解できる。		
		6週	中古の文学		中古の文学作品を理解できる。		
		7週	中古の文学／漢字テスト		中古の文学作品を理解できる。 語彙力が向上できる。		
		8週	中古の文学		中古の文学作品を理解できる。		
	2ndQ	9週	中古の文学／漢文		中古の文学作品の世界観が理解できる。 漢文の基礎的なルールが把握できる。		
		10週	漢文		漢文の基礎的なルールが把握できる。		
		11週	漢文／漢字テスト		漢文作品が理解できる。 語彙力が向上できる。		
		12週	漢文		漢文作品が理解できる。		
		13週	漢文		漢文作品が理解できる。		
		14週	漢文		漢文作品の世界観が理解できる。		
		15週	到達度試験		古文・漢文の知識が理解できる。		
		16週	答案返却とまとめ		古文・漢文の知識が理解できていることを確認できる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	漢字テスト	課題提出				合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0